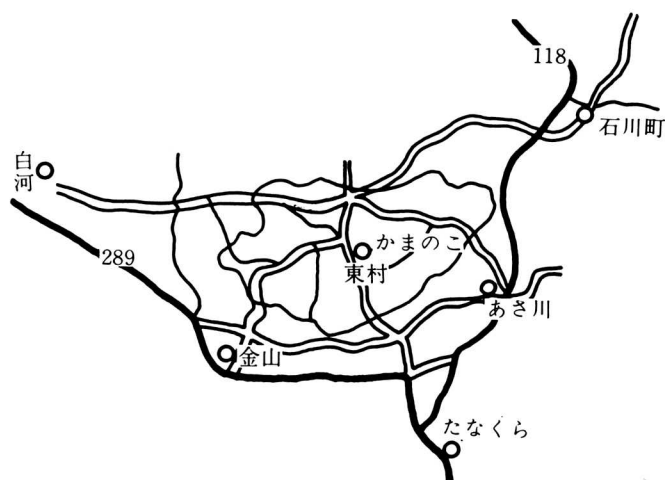


東村のちかくには国道 289 号線（^こいがた市から白河市、たなくら町をすぎていわき市）や国道 118 号線（^みと水戸市からたなくら町、あさ川、石川、すか川市をすぎて郡山市）があります。

矢吹たなくら線に「^き旧道入口」というバスでいりゆう所があります。この^き旧道というのは釜子じんや時代の村えずにある白川道をさしています。今バスが通っている道は、昭和のはじめごろ山を^き切り^{ひら}いてつくられた^{しん}新道です。もとの道は^{しん}新道のすぐ西がわにある山道を^{だい}大黒町に通じています。

また^{わか}若栗の^か鹿島^{じん}神社のすぐ下をはば1間(やく1.8m)の山道が通っています。この道がもとの道でつつみにぬけていたのです。



③道しるべ

白河市の東にそうぎもどしのひがありますが、すぐそばに「右たなくら左いしかわ」の石の道しるべが立っています。そこから左へ^く双石をすぎて、五箇小学校（^た田島）までくると、大正10年（1921）に立てられた^り里程表があります。それにはつぎのようにきざんであります。

「白河へ1里22町10間、石川町へ4里16町42間、^た棚倉へ4里1町46間」